

神奈川大学「みなとみらいキャンパス」竣工のお知らせ

新学部を含むグローバル系 3 学部が集結する『知の拠点』、2021 年 4 月開設

学校法人神奈川大学(本部: 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1)は、本日 1 月 15 日(金)に、神奈川大学「みなとみらいキャンパス (本年 4 月開設)」竣工の神事を執り行いました。

今般のコロナウィルスに関する緊急事態宣言を受け、当初計画していた式典を延期し、規模を縮小して、神事のみを最小限の人数で実施しました。

学校法人神奈川大学理事長・神奈川大学長の兼子良夫コメント

みなとみらいキャンパスの特徴の一つは、あらゆる「人」が集い、「知」が交流する拠点となる「ソーシャルコモンズ」です。低層階に位置する図書館、社会連携センター、オープンイノベーション関連施設、観光ラウンジなどを広く一般に開放します。この新しく魅力的な空間で実現される教育・研究から生まれる化学反応を、私自身も大いに期待しています。

【概要】

日時： 2021 年 1 月 15 日 (金) 10:00～10:30

会場： 神奈川大学みなとみらいキャンパス (5 階・中小ホール)

神事参列者：

- ・学校法人神奈川大学
兼子良夫 (理事長・神奈川大学長)、三浦大介 (常務理事)、日野晶也 (常務理事)
- ・日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社チーフ・マネジャー 杉浦智也様
- ・株式会社三菱地所設計 執行役員経営企画部長 清水明様
- ・株式会社竹中工務店 横浜支店 作業所長 土田昇様



※本日執り行った神事並びに新キャンパスの写真をご入用の方は、以下よりダウンロード願います。

ご不明な点などございましたら、担当までご連絡をお願いします。

【オフィシャル写真格納先】 <https://bit.ly/3oFQfHi>

※4 月の開設を前に、報道関係者さま向けの内覧会実施を計画しております。実施内容が決定次第、ご案内させていただきます。

【本件に関するお問合せ】

神奈川大学 PR 事務局 (サニーサイドアップ内)

担当：久保蘭 (携帯 070-3190-3706)、中嶋 (携帯 090-7722-1206)

TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050 E-mail: kanagawa-u_pr@ssu.co.jp

学校法人神奈川大学

担当：広報部 TEL: 045-481-5661 (代表)

神奈川大学「みなとみらいキャンパス」概要

国際都市・横浜の桜木町で 1928 年に誕生した神奈川大学は、創立から 90 年余りを経て、発祥の地に隣接する「みなとみらい地区」に新たなキャンパスを開設するに至り、2018 年 10 月に着工、この度竣工いたしました。

高さ約 100m、地上 21 階、地下 1 階からなる新校舎は、図書館やエクステンションセンターなどの施設、さまざまな言葉や文化が飛び交うグローバルラウンジなど、市民にも開かれたソーシャルコモンズ機能を展開する都市型・未来型の新キャンパスです。

そのコンセプトは「国際・日本」の融合した未来「創造・交流」キャンパス。グローバル教育に重点を置いた 3 学部（外国語学部、2020 年 4 月に開設した国際日本学部、経営学部）・約 5,000 名規模が集まる本キャンパスでは、それぞれの専門分野を持ち、興味・関心の異なる学生たちが、学部の枠を超えて学び、交流し、協働することで、新たな価値を創造していくことが期待されています。

名称：	神奈川大学みなとみらいキャンパス
所在地：	神奈川県横浜市西区みなとみらい 4 丁目 5-3
アクセス：	みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩 6 分、「新高島駅」徒歩 4 分 JR・私鉄・地下鉄各線「横浜駅」徒歩 約 11 分 JR・横浜市営地下鉄線「桜木町駅」徒歩 約 12 分
事業主：	学校法人神奈川大学
敷地面積：	7,848.31 m ²
延床面積：	50,568.28 m ²
階数：	地下 1 階、地上 21 階
高さ：	約 100m
設計：	株式会社三菱地所設計
施行：	株式会社竹中工務店
主な施設：	



神奈川大学「みなとみらいキャンパス」特長

●人が集い、知が交流する「ソーシャルコモンズ」

「『国際・日本』の融合した未来『創造・交流』キャンパス」をコンセプトとする、みなとみらいキャンパス。

その特長は、あらゆる「人」が集い、「知」が交流する拠点となる「ソーシャルコモンズ」です。ここには地域や社会とつながる、さまざまな機能を持つ空間が配置されます。

1階には、英語をはじめ多言語の異文化交流の場であるグローバルラウンジや、外国人観光客も利用できる観光ラウンジを配置、体験展示エリアには、3Dプリンター等を利用したモノづくりを体験できるファブラボが設けられるなど、多様な「交流」の空間が用意されます。その他にも図書館、カフェ、エクステンションセンター、広場などの施設は、いずれも地域に開放する計画をしています。



1階 エントランスホール

●さまざまな世代が集い、交流するキャンパスの実現

みなとみらいキャンパスには、学生だけでなく、研究者、周辺企業、観光客など多くの「人」が集います。

「オープン」「イノベティブ」「インタラクティブ」をキーワードに、さまざまなテーマ、関心、課題のもと、地域・社会に開かれたキャンパスとして、企業や自治体など外部機関と連携しながら幅広い活動を展開します。特に、社会連携活動の中核となる「社会連携センター」では、みなとみらい21地区に集う人々や、企業を中心とした地域や社会との共創機能を担います。

大学と地域社会をつなぐさまざまな活動を展開し、垣根を超えた新たな価値を創り出し、新しい創造、交流が生まれることを期待しています。



高層階吹き抜け空間（プレゼンテーションフィールド）

●四季の風や光を感じられる都市型キャンパス

都市型キャンパスでありながら、四季の風や光を感じられる開放的な空間が多いことも、みなとみらいキャンパスの魅力の一つです。

1階広場から7階の学生ラウンジ（食堂を含む）までは屋外階段で上がることができ、それぞれの階には丘のように立体的に配置された緑豊かなテラス等の空間が設けられています。また、地域社会に開かれたキャンパスとして、大通りを行き交う人々が、キャンパス内のアクティビティを感じられるよう、街に開かれた設計を多く取り入れています。

大学のさまざまな活動を、社会や街に発信することで、幅広い世代の方々をキャンパスに誘い、みなとみらいの街に新たなにぎわいを生み出していきます。



人が行き交う低層空間



1～4階 吹き抜け空間